診察などでお待ちの間にお読み頂くパンフレットです。

札幌医療センターつうしん

平成 31 年 2 月 1 日　発行
ＫＫＲ札幌医療センター
〒０６２－０９３１
札幌市豊平区平岸１条６丁目３－４０
電話（０１１）８２２－１８１１
http://www.kkr-smc.com

（31－2 号）

理　念

"病院は人"のこころで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります
生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします
温かな配慮で安寧（あんねい）につくします

基 本 方 針

1. "生活の質"向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を進んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します

健康関連用語　- シリーズ 111

2 月（ 如月 ）のこよみ

2 月　3 日　（日）節分
2 月　4 日　（木）立春
2 月　11 日（月）建国記念日

さて、空気が乾燥し気温が低くなる冬期間は、感染症がピークを迎える時期です。そこで、健康関連用語シリーズ第 111 弾は「ノロウイルス」を取り上げます。

ノロウイルスは日本における食中毒の原因ウイルス第１位だそうです。そのノロウイルスが原因となり発症する感染性胃腸炎の主な症状は「腹痛」「嘔吐」「下痢」ですが、なかには「頭痛」「悪寒」「筋肉痛」「発熱」などを伴うこともあります。基礎体力のないお子様や高齢者は、下痢や嘔吐に伴う脱水症状や肺炎といった合併症に陥りやすいので十分な注意が必要です。

ノロウイルスは高温・乾燥・アルコール消毒に対する抵抗性が高いため、感染力が強力であることが特徴です。また有効なワクチンや抗ウイルス剤などの根本的な治療薬はないため、安静・保温・水分や栄養の補給などで体力の消耗を最小限にすることが大切です。

予防法としては、帰宅時・料理や食事の前・トイレの後に石けんで手をよく洗う、貝類や生野菜はよく加熱してから食べる・消毒は次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を使用する、などが挙げられます。人から人への感染を広げないように、日頃から手洗いやうがいなどの予防習慣を身につけたいですね。

（参考文献）http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html　他

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

手術前の"からだ”と"こころ”の準備について

手術室　看護主任
手術看護認定看護師　児玉美樹

「手術室の看護師って何をするひとなの？」・・・手術室に入ることのない患者さんにとって、私たち手術室看護師はあまり馴染みのない職業かもしれません。私たち手術室看護師は、手術を受ける患者さんが無事に手術を終えるように医師たちと協力して患者さんのお世話をしています。また、手術の前日には術前訪問といって、患者さんのところに伺い、安全に手術を受けるための身体の状態を確認したり、心配なことはないか、手術に対して希望はないかなどのお話を聞かせてもらい、患者さんができるだけ安心できるように努めています。

最近では入院期間がどんどん短くなっているので、手術の前日に入院することも少なくありません。そのため、手術前のからだの準備は入院前から始めることが大切になってきます。例えば、歯科を受診し虫歯や歯周病の治療を受けること、タバコを吸っているかたはできるだけ本数を減らすようにすることは手術後の感染症予防につながります。また、床ずれで知られる褥瘡などの皮膚トラブルを防ぐためには入院前からの保湿と栄養管理が大切になります。女性では、マニキュアやジェルネイルなどは身体からの情報を機械で測ることの妨げになるので、あらかじめ除去する必要があります。

誰にでも手術は"一大事”な出来事です。「手術が必要です」と言われた患者さんや家族は、まず、ショックを受け、様々なことに対して不安に感じることでしょう。治療のこと、生活のこと、仕事のこと、悩んだり、困ったりすることも出てくるかもしれません。私たち手術室看護師は患者さんができるだけ手術を受けることを「頑張ろう」と前向きにとらえ、"からだ”と"こころ”の準備が良い状態で手術に臨めるようサポートしたいと思っています。手術に関して、お聞きになりたいこと、困ったことがあればいつでもご相談ください。